送 電 線 工 事 災 害　　再発防止対策書

中部　支部

発生日時	２０２４年　８月　２９日（木）　１０時ころ							天候	曇り	
災害の程度	死亡　　名		負傷　1名		職種 伐採作業員		年令 ５４才		経験年数 ４年	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他		
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			

災害の状況

【件　　名】玉切り作業中に、玉切木が傾き左足を負傷
【作業内容】伐採
【施工体制】作業員４名（被災者含む）

【発生状況】
8:30　作業開始
9:50　当該木（広葉樹）の伐倒を開始
10:00　当該木を伐倒後、幹中央を玉切りを始めたところ、玉切木の幹が被災者側に動き出して、左足が挟まれた。
（※伐倒時、牽引具を使用
伐倒後、伐倒木の元口付近に転落防止用ロープを設置
当該木は、幹中央部が地面についていない状態であった）

11:38　被災者は、救急車にて医療機関に搬送された。

【被災の程度】
左脛骨腓骨幹部骨折　全治３か月（安静加療）

【被災者の服装】
保安帽、作業着、安全靴、手袋

原因及び対策

【原因】
①　現場監督者は、伐倒木に異常な張力が掛かっていることを把握できていなかった。
②　①起因に伴い、現場監督者は状態判断を見誤った。
③　①起因に伴い、現場監督者は、作業員に適切な指示ができなかった。
④　作業員は、伐倒木に異常な張力が発生することを判断できなかった。

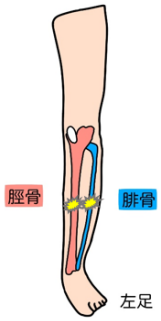
【再発防止対策】
①②③　現場監督者は、伐倒木の状況を元口から穂先まで直接確認、または状態を判断できできる作業員に状態確認することを指示して、その報告を受ける。
③④　作業員は、異常な張力が発生している恐れのある伐倒木の玉切り前には、監督者へ報告する。
異常な張力が発生している恐れのある伐倒木の具体的事例を社内手引きに追記する。

（様式－2）

災　害　概　要　図

（説明図）

被災時の状況（再現）



左脛骨腓骨骨幹部骨折